

# **HARMONY SOFT**

## **取扱い説明書**



お客様へ

このたびは、全自動エスプレッソコーヒーマシン「HARMONY SOFT」をご購入いただき誠に有難うございます。  
この取扱い説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ご使用前に『安全上のご注意』を必ずお読み下さい。  
この取扱い説明書を必要な時にいつでも見る事ができる分かり易い場所に大切に保管してください。  
この取扱い説明書の不明な点や、使用中に発生した問題点に関する記載が取扱説明書にない場合には販売代理店に連絡して下さい。

# 目 次

・安全上の注意	2
・コーヒーマシン各部の名称	4
・開店前の準備手順	5
・各メニューの抽出方法	7
・コーヒー豆(パウダー)の補充方法	8
・グループ、ミルクカーのオートリンス機能	8
・毎日のお手入れ パワークリーナー (営業中のミルクライン簡易洗浄及び営業終了後)	9
・毎日のお手入れ (抽出ラインの自動洗浄手順)	10
・毎日のお手入れ (ミキサーの分解洗浄)	14
・毎週のお手入れ (ミルクカーの分解洗浄)	15
・毎週のお手入れ キャニスター(パウダー容器)のクリーニング	17
・毎月のお手入れ ホッパー(コーヒー豆容器)の取り外し 取り付け方法	19
・クローズ作業	20
・ミルククーラーのOFFと清掃	20
・スチームノズルの清掃	20
・コーヒー抽出ノズルの分解洗浄	21
・マシン機能上のメッセージ(アラーム)一覧	23
・故障かなと思ったら	24
・保証とアフターサービス	25

## 安全上のご注意（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明



### 警告

この表示は誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



### 注意

この表示は誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

## 一般的な注意事項



### 警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をして下さい（電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。）
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすが無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。



### 注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意をして下さい。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なって下さい。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないで下さい。
- 付属品以外のものを使用しないで下さい。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないで下さい。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んで下さい。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用しないで下さい。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をして下さい。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

## 設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所又は訓練を受けた要員が監視できる場所に据付して下さい。

### 警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外では絶対に行わないで下さい。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりにしないで下さい。電源コードが傷んだまま使用すると感電や火災の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのもをお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。

### 注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となる場合があります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。
- 設置周辺温度が45℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないで下さい。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル(Mpa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。

#### 使用環境条件

気温： 5 - 45 °C (凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。)

湿度： 80% 以下

水硬度： 50以下 (ppm)

- (注) お湯では無く必ず水を給水してください。
- (注) 水以外の飲料 (例えばミルクなど) やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。

## 操作を行なう時の注意事項

### 注意

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの向きに注意をして下さい。火傷や怪我の原因になります。また、使い終わった時には誤操作により噴出した熱湯やスチームを浴びないようにノズルの位置を排水トレー方向に向けてください。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
- コーヒーマシンの作動中、コーヒー豆用ホッパーの中に手を入れしないで下さい。怪我の原因になります。
- 抽出ライン (コーヒー/ミルク/ミキサー) の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- コーヒー豆用ホッパー及びパウダー用キャニスターは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくとも雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆及びパウダーが入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 前面パネルのクリアー部分 (アクリル製) にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないで下さい。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないで下さい。

#### 使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なって下さい。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なって下さい。
- 水の供給をしないでマシンを使用しないで下さい。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないで下さい。
- 硬度の高い水を使用する場合には軟水器をしようしてカルシウム成分の固着を防いでください。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないで下さい。

マシンの毎日の清掃、特に抽出ライン及び、ミルクを推奨する洗浄剤で清掃を実施せずに、故障が発生した場合には製品保証の対象となりません。

## コーヒーマシン各部の名称

### 仕様:

	HARMONY SOFT	HARMONY SOFT S
幅(mm)	325	325
高さ(mm)	745	745
奥行き(mm)	560	560
満水重量(Kg)	52	52
コーヒー抽出グループ数	1	1
グラインダー数	2	1
コーヒー豆 ホッパー数	2	1
パウダーキャニスター数	1	1
給湯抽出口	1	1
1日 最大抽出杯数(推奨)	約120杯	約120杯
コーヒー豆 ホッパー容量(g)	700g×2	700g×1
キャニスター パウダー容量(g) ※粒度によって容量に誤差があります	1250g	1250g
ポイラー容量 (コーヒー用/スチーム用)	コーヒー用/スチーム用 各1L	コーヒー用/スチーム用 各1L
電気容量/電流(KW/A)	3.2KW / 16A	3.2KW / 16A
電源	単相200V 50/60Hz共用	単相200V 50/60Hz共用
電源コード	約2m	約2m
ポンプ	内蔵式 加圧ポンプ	内蔵式 加圧ポンプ
給水接続方法	15A バルブ止め	15A バルブ止め
排水接続方法 (排水直結の場合)	20Aワイヤ入り排水ホース	20Aワイヤ入り排水ホース

※仕様は品質向上のため予告なしに変更する場合がございます。

### 各部の名称: 外装部



1	パウダー用キャニスター(容器)
2	コーヒー豆用ホッパー (容器)
3	コーヒー豆用ホッパー (容器)
4	ディスプレイ
5	INFOボタン(インフォメーション)
6	SHIFT/クリーニングボタン
7	メニューボタン
8	スチームノズルラバー(取手)
9	前面ドアキー
10	スチームノズル
11	高さ調整式抽出口
12	コーヒーカス受け箱
13	排水トレイ
14	主電源スイッチ



# 開店前の準備手順（マシンの立ち上げ）

## 1. マシン電源を入れる前に（事前確認事項）

- ① コーヒー豆やパウダーは容器に十分に入っていますか？  
入っていない場合：各容器の蓋を開け、コーヒー豆、パウダーを補充します。



- ② 排水トレイ及びカス箱は空になっていますか？  
③ 保冷庫の電源を入れ、保冷庫内の容器にミルクを入れて準備します。

## 2. マシン電源を入れる

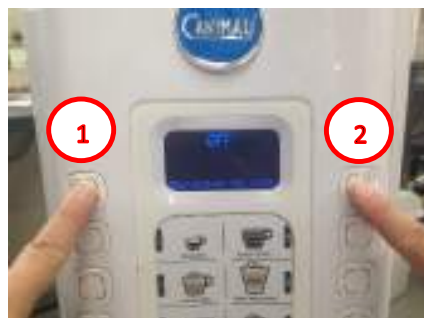
- 1 マシン前面ドアを開け内部の主電源スイッチを入れます。  
スイッチをスイッチを上を押すとONになり、オレンジ色のランプが点灯します。



- 3 マシンの電源が入り、ディスプレイが次のように表示されます。



- 4 SHIFTボタンを押しながら、INFOボタンを押します。（①→②の順）



- 5 電源が入ると、ディスプレイがOFF⇒次の表示に変わります。





# 開店前の準備手順（マシンの立ち上げ）

## 3. ウォームアップと自動リンス(すすぎ)機能

電源をONにすると、ボイラーへ自動給水され、ボイラーの沸き上げが開始されます。  
コーヒーボイラーの温度が50°Cに到達すると、アラーム音が鳴り、抽出口より湯が出ます。  
(自動リンス機能)

1

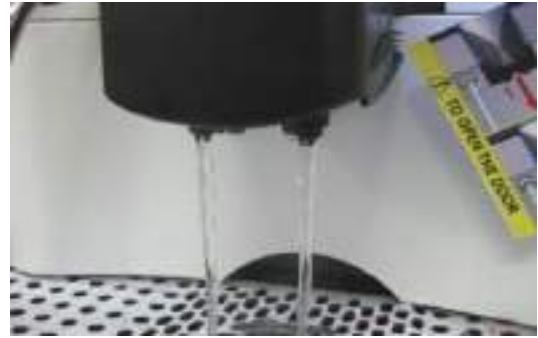
自動リンス実行時のディスプレイ表示



2

### ⚠ 注意

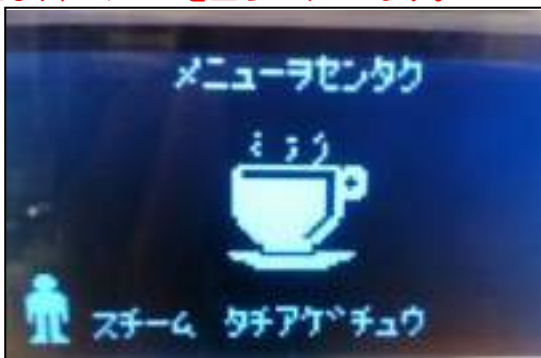
自動リンスが作動する時には、アラーム音が鳴り、抽出ノズルから湯が排出されます。抽出口には手を近づけないように注意してください。



3

自動リンス後、沸き上げ動作を続けます。コーヒーボイラーの温度が83°Cになるとディスプレイは下記表示となります。

※ディスプレイは『スチーム タチアゲチュウ』となり、スチームを立ち上げています。



4

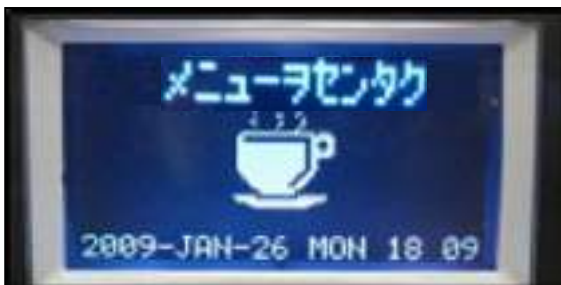
抽出可能なメニューボタンのみ点灯します。(抽出可能メニュー例; コーヒー アメリカン)



※ウォームアップタイム; 約5分 (外気温24度の場合)

5

スチームボイラーの温度が湧き上がると、



6

全てのメニューボタンのランプが点灯します。全メニューが販売可能になります。



※ウォームアップタイム; 約10分 (外気温24度の場合)

## 各メニューの抽出方法(ボタンの操作)

### 抽出方法;コーヒー/カプチーノ/カフェラテ/ココア/お湯等

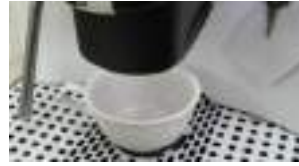
1

ディスプレイが「メニューセレクト」になり、メニューボタンのランプが点灯している事を確認します。



2

カップをトレーに置き、抽出ボタンを押します。



### ホットウォーターの抽出

1

抽出ノズルの下にカップを置き、ホットウォーターボタンを押します。



#### チェックポイント!

ホットウォーターを連続して抽出した場合には下記の表記となり、マシンはリカバリー中(ヒーティング)となります。

この表示中は、コーヒーやお湯に関連する抽出ボタンのランプが消灯し、抽出ボタン押しても抽出できません。しばらく待ちますと、リカバリー(ヒーティング)が終了し抽出可能となります。抽出ボタンのランプも再び点灯し



### スチームの使用とクリーニング

- マシンのディスプレイが『メニューセレクト』の状態であり、メニューボタンのランプが点灯している事を確認します。
- 温める容器にスチームノズル先端を差込み、スチームボタンを押します。



#### 注意!

スチームノズルを使用する時は、火傷防止のため、必ず取っ手部分を持つようにしてください。



- 使用後は、濡れた布巾等で拭き取ります。



#### チェックポイント!

使用後は液体が残っている容器にスチームノズルを差込み浸し続ける事を避けてください。パイプ内にドリンクが詰まり、異臭発生や故障の原因になります。





## コーヒー豆(パウダー)の補充方法

### コーヒー豆及びパウダーの補充

常に新鮮なメニューでご提供していただくために、おおよそ1日の消費量を補充してください。

#### パウダーの補充方法

左の容器の蓋を開け、パウダーを補充して下さい



#### コーヒー豆の補充方法

右の容器の蓋を開け、コーヒー豆を補充して下さい



※日々マシンを使用していきますと、コーヒーの脂成分等で豆ホッパーの内側が汚れてきます。そのままにしておきますと豆の劣化、コーヒーの香りが悪くなる原因となります。コーヒー豆補充前や、ホッパー内側が汚れる毎に、ホッパー内側を、乾いた清潔なクロスやペーパータオルなどで、から拭きしてください。(洗剤を使用しての清掃や水ぶきは厳禁です)

## オートリンス機能

### 自動すすぎ(洗浄)機能

コーヒーマシン稼働中に自動で実施されるリンス(洗浄・保温)機能  
※アラーム音が鳴り自動作動します。

- ⚠ (注) 熱湯や高温蒸気による火傷の恐れがありますので、抽出口に手を触れたり、下に手を置いたりしないでください。  
(注) オートリンス作動中はメニューボタンは押せません。

	グループオートリンス	ミルクオートリンス
①内容・目的	コーヒー経路の簡易洗浄	ミルク経路の簡易洗浄
②対象メニュー	コーヒー・アイスコーヒー カフェラテ・アイスカフェラテ 《コーヒーを使用するメニュー》	カフェラテ・アイスカフェラテ 他ミルク使用メニュー 《ミルクを使用するメニュー》
③作動頻度	対象メニュー抽出後、次に対象メニューを抽出する迄15分以上、間隔が空いた場合に180分おきに1回。	対象メニュー抽出後、次に対象メニューを抽出する迄10分以上、間隔が空いた場合に60分おきに1回。
④動作時間	約1分	約20秒間
⑤ディスプレイ表示		

## 毎日のお手入れ パワークリーナー (ミルクラインの簡易洗浄)

ミルクの抽出チューブとミルクー部の自動洗浄

### 必要用具・洗剤

ミルクライン洗浄用ボトル 洗浄用排水受け容器  
ペーパータオル

### 目的

- ・ミルクラインのつまり防止
- ・ミルクー部の乳脂肪分除去
- ・衛生管理

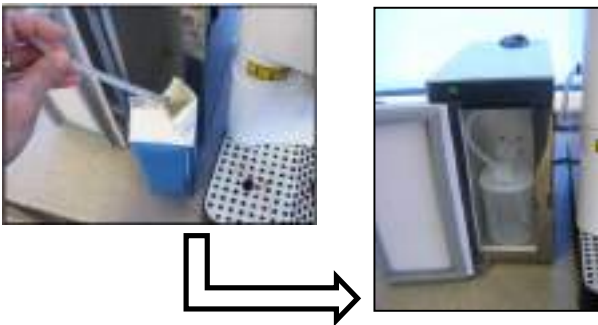
### 改善されるトラブル

- ・ミルクメニューの抽出量不足
- ・ミルクの泡立ち不足

・営業中6時間毎に1回、クローズ時に1回洗浄してください。  
※クローズ後の毎日の清掃でも必ず実施してください。

**注意！**パワークリーナーは、ボイラーのお湯を抽出ノズルだけでなく、ミルク側へも排出します。必ずミルク洗浄用計量ボトルを使用し、下記手順に沿って行って下さい。抽出口付近には手を近づけないで下さい。火傷の原因となります。

1 ミルクチューブをミルクの容器から取り外し、水400ccを入れたミルクライン洗浄用ボトルに差し込みます。



2 『SHIFT』ボタンを5秒間長押しします。



ディスプレイは右記になります。



3 点滅しているボタンB7を3回押します。パワークリーナーが自動的に開始されます。



4 洗浄中、ディスプレイは下記のように表示され、この工程のクリーニング終了時間を表示します。



5 ミルクチューブと抽出口からお湯が排出されます。パワークリーナーは自動的に終了し、ディスプレイがメニューセンタクに戻ります。



6 **営業中は...**『パワークリーナー』終了後、ミルクチューブをアルコールを噴きつけたペーパータオルで拭き、殺菌してからミルクに戻します。



**クローズ後は...**  
次ページの抽出ライン洗浄を実施して下さい。

## 毎日のお手入れ 抽出ライン (コーヒー、ミキサー、ミルク)自動洗浄手順①

コーヒー、ココア、ミルクの抽出チューブと各製品の自動洗浄

### 目的

- ・各抽出ラインのつまり防止
- ・コーヒーマシンの故障防止
- ・衛生管理

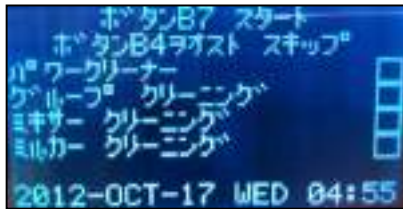
### 改善されるトラブル

- ・抽出量不足
- ・完成品が薄い
- ・ミルクの泡立ち不足

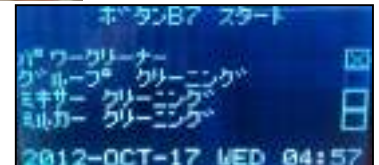
### 必要用具・洗剤

コーヒーマシンクリーナー  
ミルクチューブクリーナー  
ミルクライン洗浄用計量ボトル  
清掃用ハケ  
ミルク洗浄用ブラシセット  
ペーパータオル

1 SHIFTボタンを5秒間長押しします。



2 ボタンB4を押し、パワークリーナーをスキップさせます。



3 ボタンB7を押すとグループクリーニングに進みます。  
※グループクリーニング(=コーヒーラインの洗浄)



ディスプレイは、右のように表示されます。



4 フロントパネルを開け、ピストン底面を清潔なクロスで拭き取ります。  
清掃用ハケで、ピストン周辺のコーヒー粉を清掃します。



5 4の清掃が終了したら、フロントパネルを閉じます。



6 閉じます。ディスプレイが次の表示になります。コーヒーマシンクリーナーを一錠取り出して用意します。



※フロントパネルを閉じてから、約40秒経過すると、自動的に電源がOFFになります。  
コーヒーマシンクリーナーを入れる前に、OFFとなったら、手順1からやり直してください。




## 毎日のお手入れ 抽出ライン (コーヒー、ミキサー、ミルク)自動洗浄手順②

7 フロントパネルを開け、抽出シリンダーに、コーヒーマシンクリーナーを入れ、フロントパネルを閉じます。




8 フロントパネルを閉じて、数秒すると、自動的に洗浄がスタートします。ディスプレイは次の表示に変わり、この工程の終了迄の時間がカウントダウンされます。



9 コーヒーライン洗浄が終了すると、ディスプレイは次の表示になります。


✓確認



10 点滅している、ボタンB7を押して、次の工程(ミキサークリーニング)に進めます。

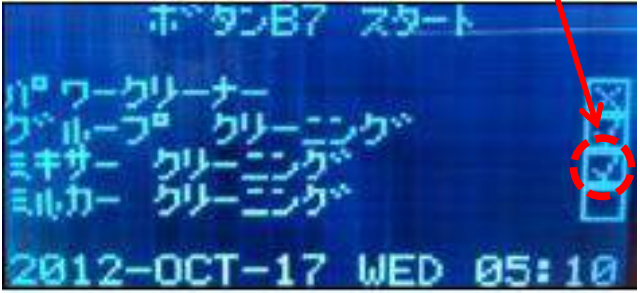


11 ミキサークリーニングは、自動洗浄のみです。ディスプレイは次の表示になり、この工程の終了迄の時間がカウントダウンされます。



12 ミキサークリーニングが終了すると、ディスプレイは次の表示になります。点滅しているボタンB7を押し、次の工程(ミルククリーニング)に進みます。

✓確認



## 毎日のお手入れ 抽出ライン (コーヒー、ミキサー、ミルク)自動洗浄手順③

13

ミルククリーニングは、ミルクチューブクリーナーを用意して、ミルクライン洗浄用計量ボトルに洗浄溶液を作ります。  
※洗浄溶液;クリーナー30cc+水300cc



14

ディスプレイは、次表示になります。



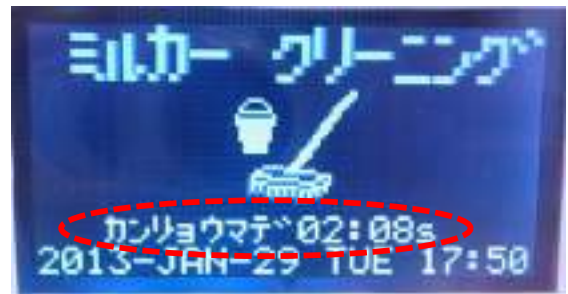
15

ミルクチューブをミルク容器から取り外し、ミルク洗浄溶液に差替えます。



16

点滅している、ボタンB7を押すと、ミルククリーニングがスタートします。ディスプレイは次の表示に変わり、この工程終了迄の時間がカウントダウンされます。



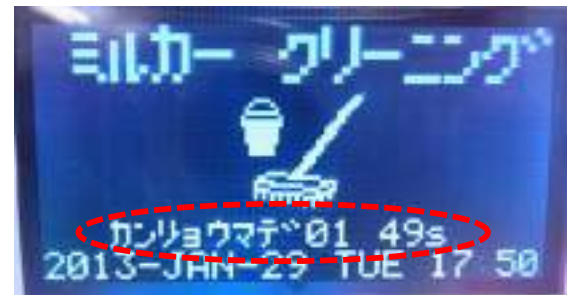
17

ミルククリーニング(洗浄工程)が停止すると、ディスプレイは、次のようになります。ボトルを洗浄してから、水を300ccを入れ、チューブをセットします。



18

点滅しているボタンB7を押すと、ミルククリーニングが再開します。(リンス工程)





## 毎日のお手入れ 抽出ライン (コーヒー、ミキサー、ミルク)自動洗浄手順④

19 ミルクラインのすすぎが終了するとディスプレイは下記ようになります。



アラーム: コーヒーカスガイッパイデス。  
カス受け箱を掃除のため、取り外します。

20 カス受け箱を取り外すため、抽出ノズルと給湯ノズルを上方向に上げます。



21 カス受け箱を取り外し、カスを捨てます。排水トレーを取り外します。

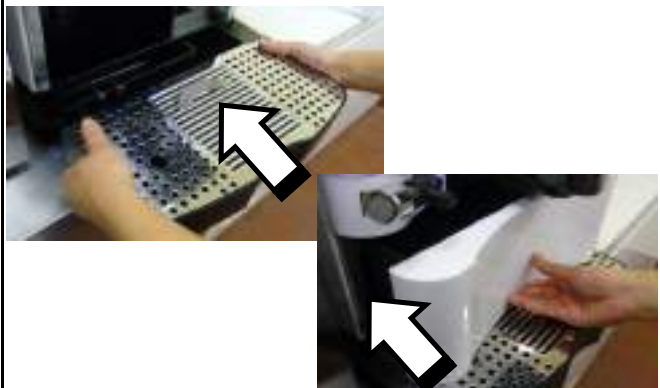


22 カス受け箱と排水トレー、排水トレーすのこを中性洗剤で洗浄します。

! 注: 食器洗い機や乾燥機は使用厳禁



23 カス受け箱と排水トレーの水気をふき取り、元の位置にセットします。

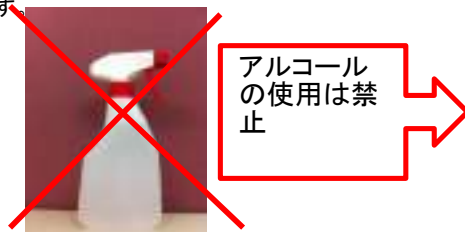


24 ペーパータオルにアルコール除去剤を噴霧し、ミルクチューブを拭き取ります。

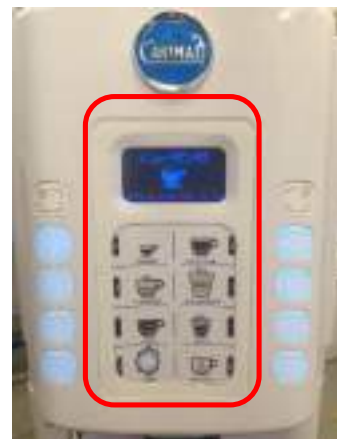


### ! 注意事項

前面パネル中央のクリアーパネル(アクリル製)にはアルコール類を使用しないで下さい。アクリル製の部分にアルコールを使用しますと化学反応により破損します。清掃する場合は、水をよく絞ったクロスやペーパータオル等で乾拭きをお願い致します。



アルコールの使用は禁止



## 毎日のお手入れ ミキサーの分解洗浄

1 フロントパネルを開け、パウダー出口を左右にひねりながら外します。



2 ミキサーボディに接続されている、チューブを抜きます。



3 ミキサーボディのロックを反時計方向に回して、解除します。  
ミキサーボディを外します。



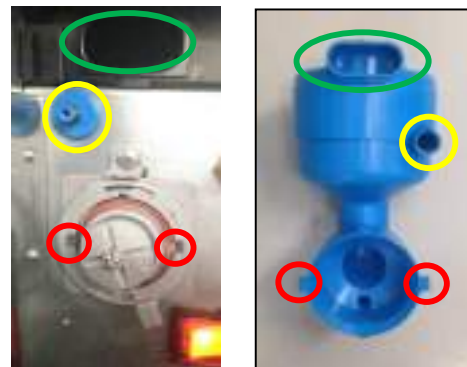
4 ミキサーボディ、パウダー出口を分解して、付属のブラシで洗浄します。  
※パウダー出口とエア抜きラバーは、水分をしっかりとふきとります。



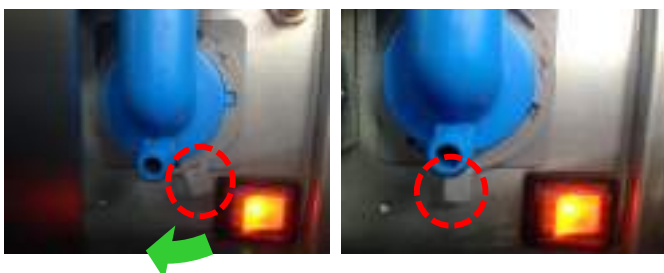
5 エア抜きラバーを取り付けます。



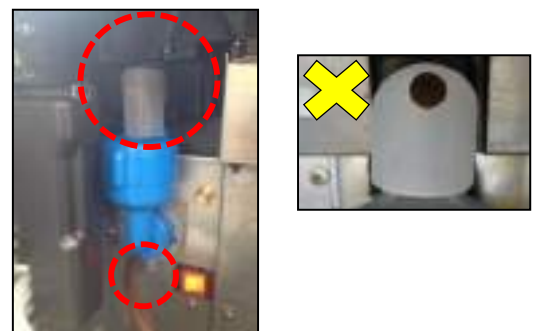
6 マシン本体とミキサーボディのそれぞれの部位が、合うように接続します。  
(緑色部⇒黄色部⇒赤色部の順に接続する)



7 ミキサーボディのロックをかけます。  
時計回りに回して固定します。



8 パウダー出口を接続し、茶色のチューブを取り付けます。  
(パウダー出口は穴が上です)



# 毎週のお手入れ ミルカーの分解洗浄手順①

(ミルクの泡立ちが良くない時は適宜実施)

ミルカーを分解して、細部の洗浄と部品の確認を行う

### 目的

- ・ミルクの泡立ち品質維持
- ・衛生管理
- ・Oリングの摩耗・欠損の確認

### 改善されるトラブル

- ・ミルクの泡立ち不足
- ・ミルクの泡立ちが不安定
- ・ミルクの泡立ちが荒すぎる
- ・ミルクの抽出量が少ない

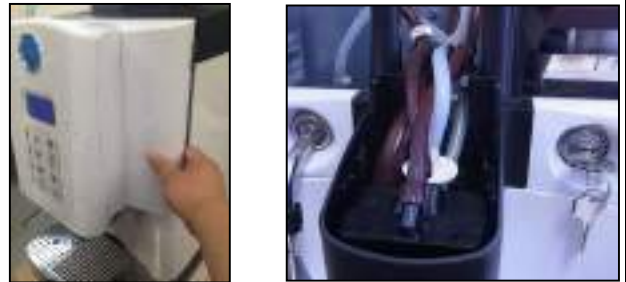
### 必要用具・洗剤

- ミルクチューブクリーナー
- ミルクライン洗浄用計量ボトル
- ミルカー洗浄用ブラシセット
- アルコールスプレー

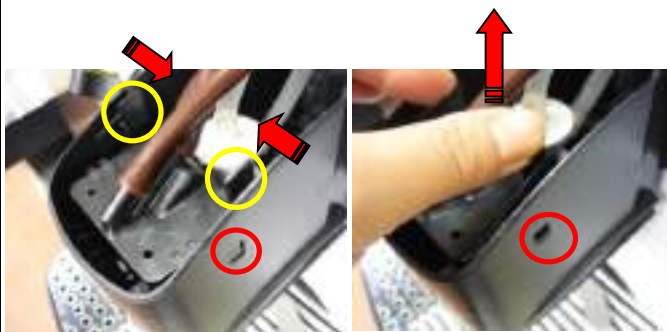
1 洗浄溶液を作ります。  
300ccの水にミルクチューブクリーナー  
30ccを混ぜ洗浄溶液を作ります。



2 フロントパネルを開けます。



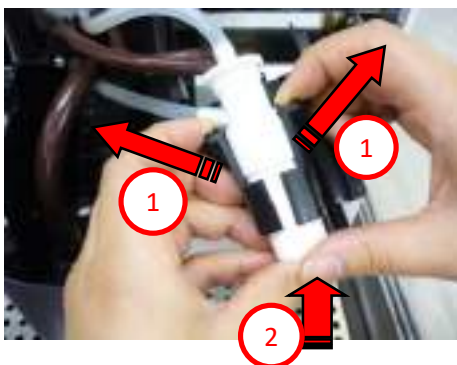
3 ① 抽出口上部のつまみを矢印の方向へ  
つまみながら、  
② 抽出口を上方向へ引き上げます。



4 抽出口ホルダーから抽出口を取り外します。



5 ミルカーホルダーからミルカーを取り外します。  
① 矢印の方に拡げます。  
② 下からミルカーを押し上げると外れます。



6 ミルカーに繋がるシリコンチューブを外します。  
※チューブの番号を確認しておきます。  
(③が横、④が上に接続されています。)

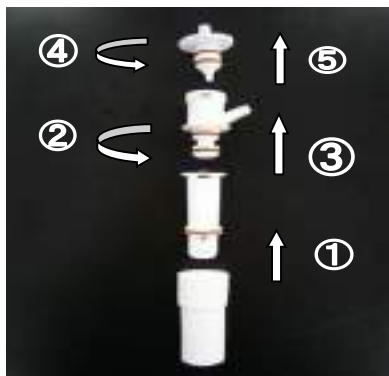




## 毎週のお手入れ ミルカーの分解洗浄手順② (ミルクの泡立ちが良い時は適宜実施)

7

ミルカーを4つに分解します。  
②・④は反時計回りにして引き抜く。



※Oリングに傷や  
磨耗が無いか確認  
してください。  
欠損したOリングは  
交換してください。

8

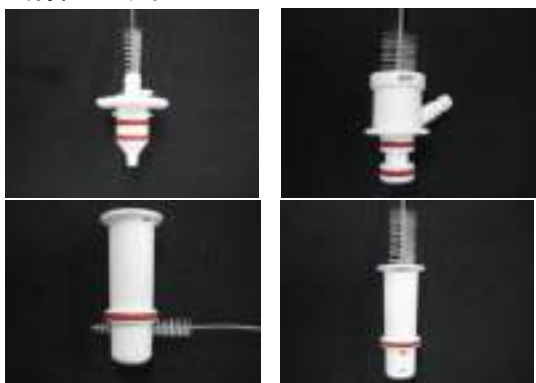
分解したミルカーを予め準備した  
洗浄溶液に一晩浸します。



※汚れが落ちにくい  
場合には、洗剤に浸す  
時間を延ばしてください。

9

洗剤に浸けたミルカーを水で良くリンスし、  
ミルカー洗浄ブラシで各パーツの穴や内側を  
清掃します。



10

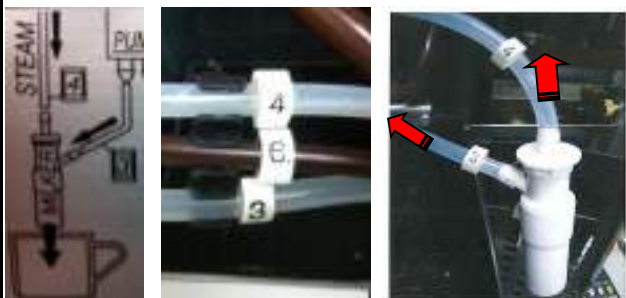
ミルカーを組み立てます。



11

ミルカーにシリコンチューブを繋ぎます。

※シリコンチューブには、番号がついています。  
③のチューブはミルカーの横部  
④のチューブはミルカー上部に接続



12

ミルカーホルダーにミルカーを差し込みます。



13

抽出口ホルダーに抽出口をセットします。



14

抽出ホルダーにセットする際  
チューブが折れ曲がっていないか確認します。



## 毎週のお手入れ パウダー用キャニスター(パウダー容器)のクリーニング①

パウダー用キャニスターを取り外して洗浄します。

※キャニスターは樹脂製です。脱着時の操作及び取り外した時に落下しないようご注意ください。

### 目的

- ・パウダーの品質維持
- ・キャニスターの汚れ除去
- ・衛生管理

### 必要用具・洗剤

ペーパータオル

### 改善されるトラブル

- ・抽出量不足
- ・完成品が薄い
- ・パウダー固化の改善

1 フロントパネルを開けて、パウダー出口を外します。



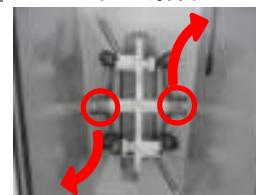
2 キャニスターを奥に傾けながらゆっくり持ち上げて、取り外します。



3 粉送りスクリー固定リングを左に回して外し、固定スクリーンを取り外します。



4 ホイールを固定しているロックピンを片方ずつ右に回し解除してホイールを外します。



5 キャニスター及び外した各部品を洗浄します。  
※食器洗浄機の使用は避けて下さい。  
変形や破損の原因となります。



6 洗浄後、ペーパータオルで水分を拭き取り自然乾燥させます。






## 毎週のお手入れ パウダー用キャニスター(パウダー容器)のクリーニング②

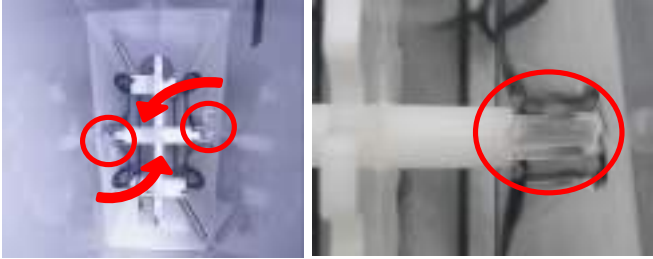
7 キャニスターを組み立てます。  
ホイールを取り付けます。

※この時、バネが引っかからないようにするため  
ホイールに付いているバネを必ず横向きにして  
入れて下さい。




8 ホイールロックピンをロックします。  
左回りでピンをロックします。


ロック状態





9 パウダー送りスクリューをセットし、固定リングで  
固定します。  
※凹凸の位置を合わせてセットし、リングを  
右回りで固定します。



10 キャニスターが乾いている事を確認し、  
マシンに取り付けます。  
※接合部を確認し、奥から斜めに差し込みます。

① 

② 

③ 

11 パウダー出口を取り付けます。  
(パウダー出口は穴が上です)



12 キャニスターにパウダーを補充します。



頻度：月1回または汚れた際は都度。  
所要時間：20分

## 毎月のお手入れ コーヒー豆用ホッパー(コーヒー豆容器)の取り外し、取り付け方法

ホッパーを取り外し洗浄します。

※ホッパーは樹脂製です。脱着時の操作及び取り外した時に落下しないようご注意ください。

### 目的

- ・コーヒー豆の品質維持
- ・ホッパーの汚れ除去
- ・衛生管理

### 必要用具・洗剤

ホッパー取外し専用ツール  
ペーパータオル

### 改善されるトラブル

- ・コーヒーの香り
- ・異物混入

**チェックポイント!** 豆ホッパー内側は、コーヒーの脂成分が付着します。そのままにしておくと、豆の劣化や風味の悪いコーヒーの原因となります。豆ホッパーを清掃する時は、必ずペーパータオルで拭き取ってください。水分が残っていると、豆詰まりや豆が挽けなくなる恐れがあります。

1 専用ツールで、ホッパー後部にあるダイヤルを左回しに止まるまで回します。



2 ホッパーを上引き上げます。  
※中のコーヒー豆を別容器に移します。



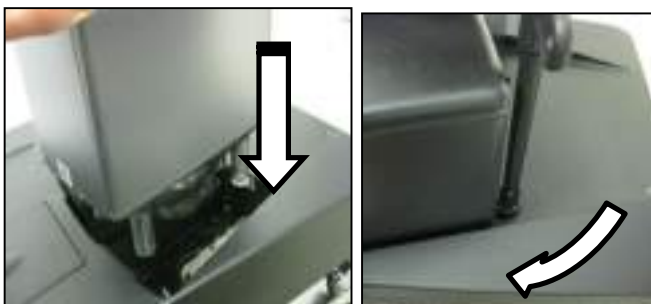
3 ホッパーの内部を、ペーパータオルで、から拭き清掃します。



4 ホッパーを取付ける前に、ホッパー底の豆ストッパーが完全に閉じているか確認します。  
※ストッパーが開いていると、正しくセットできず、抽出できなくなります。



5 ホッパーをセットし、上から軽く押さえながら、専用ツールを右回しに止まるまで回します。



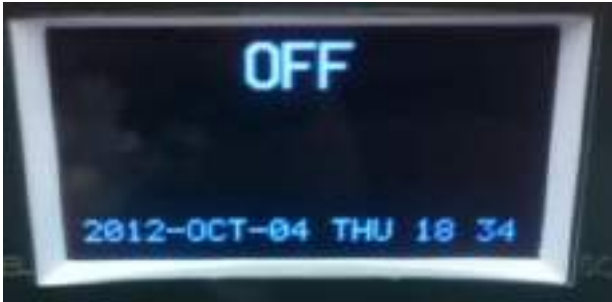
※コーヒー豆を入れる前に確認すること

ホッパーがぐらついていないか確認してください。(ぐらついている場合は、正しくセットされていない可能性がありますので、ダイヤルをゆるめて、④からやり直してください。)

# クローズ作業

1

ディスプレイがOFF表示である事を確認します。



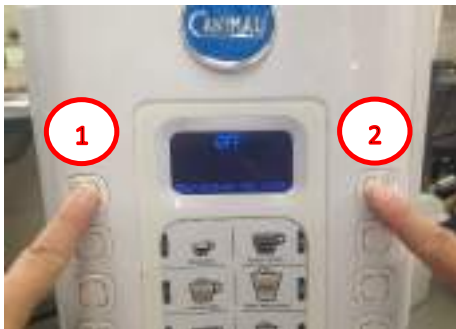
2

マシン左下の主電源スイッチをOFFにします。スイッチを奥へたおすとOFFとなり、ディスプレイ表示ライトが消えます。



※

OFF表示では無い場合は、SHIFTボタンを押しながら、INFOボタンを押し、OFFにします。



## ミルククーラーのOFFと清掃

ミルククーラーの電源スイッチを「切」にします。

※他機種種のミルククーラー使用の場合  
別途付属の取り扱い説明書をご確認下さい。



保冷機能を維持するため、1ヶ月に1度、本体背面のフィルターを取り外して、清掃してください。



フィルターが目詰りするとクーラーが冷えなくなります。



## コーヒマシン清掃時の注意点



ホッパーやカス箱、トレイ、その他の外して清掃する部品や容器は食器洗浄機や乾燥機に入れると破損します。使用しないようにして下さい。

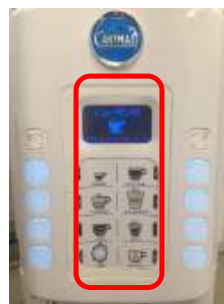


前面パネルのクリアな部分(下図の赤枠部)にアルコールなどを使用しますと破損します。使用しないで下さい。

アルコール類



前面パネル



頻度: 週1回や汚れのひどい時  
所要時間: 約5分

## コーヒー抽出ノズルの分解洗浄①

### 目的

- ・コーヒー通出口の清掃
- ・衛生管理

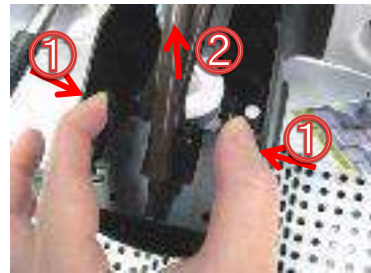
### 必要用具・洗剤

洗浄用ブラシセット

- 1 マシン、フロントドアのキーロックを解除し  
フロントパネルを開けます。



- 2 1. 抽出口上部のつまみを矢印の方向へ  
つまみます。  
2. 抽出口を上方向へ引き上げます。



- 3 抽出口ホルダーから抽出口を取り外します。



- 4 1. ミルカーホルダーを矢印へ拡げます。  
(注) 拡げすぎると折れる場合があるため注意し  
ます。  
2. 下からミルカーを押し上げると  
ミルカーが外れます。



- 5 抽出口TOPカバーの丸印の部分の  
引っ掛けを少し広げて外します。  
(注) 拡げすぎると折れる場合があるため注意し  
ます。



- 6 茶色のコーヒーチューブはTOPカバーに繋い  
だままにします。  
(注) チューブを外すと取り付けを間違えてしま  
う場合があります





## コーヒー抽出ノズルの分解洗浄②

7 取り外した抽出口ガイドの中を水洗いします。



8 出口の部分にもカスが固着している可能性がありますので清掃用ブラシで清掃します。



9 抽出ガイド下部を濡れた布巾やペーパータオル等で拭きます。  
※汚れの固着が酷い場合は、濡らしたブラシ等で汚れを落とし、拭き取ってください。



10 洗浄後TOPカバーを上からはめ込みます。正常にはめ込まれたらカチッと音がなります。  
(注)ツメを拡げる必要はありません。



11 ミルカーホルダーにミルカーを差し込みます。



12 抽出口ホルダーと抽出口の○の部分とを合わせるようにします。  
(注)セットする際、チューブが折れ曲がらないように注意します。



13 チューブに折れ曲がりが無ければ組み立て完了です。





## マシン機能上のメッセージ(アラーム) 一覧 (故障ではありません。)

マシンのアラームは、ディスプレイに表示されます。

同時にINFOボタンが点滅してお知らせすると共に  
INFOボタンを押すと、マシン図が点滅してアラームが  
出ている箇所をお知らせします。



**INFOボタンを押す**



各アラーム ディスプレイ表記	マシン図 (INFOボタンを押した時)	対処
<b>オープン ドア</b> 		<b>原因:</b> フロントパネルが正しく閉じられていません。  <b>処置:</b> ・フロントパネルを閉め直し営業中はP7を参照し、マシンを立ち上げてください。
<b>コーヒーカスガ イッパイデス</b> 		<b>原因:</b> コーヒーカス受け箱が満杯です。 杯数が設定した規定量に達しました。  <b>処置:</b> カス受け箱を取り外し、コーヒーカスを捨ててください。約10秒後、ディスプレイ表示が「 <b>カスウケガセットサレテイマセン</b> 」になりましたらカス受け箱を挿入してください。
<b>カスウケガセットサレテイマセン</b> 		<b>原因:</b> コーヒーカス受け箱が正しく挿入されていません。  <b>処置:</b> カス受け箱を正しい位置に挿入しなおしてください。
<b>コーヒーマメ ホジュウ</b> 		<b>原因:</b> コーヒー豆容器にコーヒー豆がありません。 コーヒー豆容器が正しくセットされていません。 (ストッパーが解除されていません。)  <b>処置:</b> コーヒー豆容器にコーヒー豆を補充してください。 コーヒー豆容器を正しくセットして下さい。 (ストッパーを解除して下さい。)  <b>注:</b> 豆を入れただけではメッセージは消えません。 抽出ボタンを押し抽出作動が入るとメッセージが消えます。
<b>ハイスイトレーラ セイソウシマス</b> 		<b>原因:</b> 排水トレーが満杯です。 排水口へ直結の場合は、排水が詰まっている可能性があります。  <b>処置:</b> ・排水トレー抜き、トレーを空にして再度挿入して下さい。 ・直結の場合、詰まりを可能な限り除去してください。 又は、ホースの勾配が取れているか確認してください。
<b>ハイスイトレー セットエラー</b> 		<b>原因:</b> 排水トレーが正しく挿入されていません。  <b>処置:</b> ・排水トレーを正しい位置で挿入しなおしてください。
<b>90 ジョウスイフィルターコウカン</b> 	表示はありません。	<b>原因:</b> 浄(軟)水カートリッジの交換時期を表しています。 マシンに予め設定した交換時期、水量に到達した事を表しています。  <b>処置:</b> 浄(軟)水器のカートリッジを交換してください。
<b>92 マシンノテンケンジキデス</b> 	表示はありません。	<b>原因:</b> マシン本体の点検時期に到達した事を表しています。 設定した点検時期、稼働数に到達した事を表しています。  <b>処置:</b> マシンの点検を行ない、磨耗して交換が必要となった部品を取り替えて、アラームをリセットします。

故障かなと思ったら…。(おかしいな?と思ったら)

それはどんな場合?	調べるところ
<p>・電源が入らない。</p>	<p>① プレーカーが落ちていないか確認してください。 ② コンセントが抜けていないか確認してください。 ③ マシン内部の主電源スイッチがOFFになっていませんか？</p>
<p>・ミルクの量が少ない。 ミルクの泡立ちが悪い。</p>	<p>① マシンのクリーニングを行ってください ② ミルカーの分解洗浄を行ってください。 ③ ミルカーのOリングを交換してください。 (差込みがゆるい場合) ④ ミルカージョイント部分をはめ直してください。 (かみ合わせが悪い場合) ⑤ ミルカー用シリコンチューブを交換してください。 ⑥ ミルク保冷庫が冷えているか確認してください。 ⑦ ミルクチューブが折れていないか、又はクーラーとマシンの間で、チューブが挟まっていないか確認してください。</p>
<p>・コーヒーを抽出する時: 1. 味がうすくなった。 2. コーヒーの出方が悪い。 3. ピストンパッキンが切れている。 4. 抽出湯量が減った。 5. コーヒーの泡立ちが悪い。</p>	<p>① ピストンOリングを交換する。 ② 上ピストン底のフィルターを拭く。 ③ マシンのクリーニングを行ってください。 ④ ホッパー(豆の容器)の内部を清掃してください。 (コーヒー豆の脂が付着しますと、新鮮なコーヒー豆の劣化を早めます。内部に脂が付着しないように、ホッパー内部をペーパータオルで、こまめに拭いて下さい。)</p>
<p>・コーヒーの量が少ない</p>	<p>① 上ピストン底のフィルターを拭いて下さい。 ② マシンのクリーニングを行ってください。 ③ コーヒー豆がホッパーに入っていますか？ ④ チューブが正しく接続されていますか？</p>
<p>・マシン下より水漏れ。</p>	<p>① 排水ホースが詰まってないか確認してください。 (牛乳などをトレイに流しますと、脂肪分が固まり、流れ難くなります。流さないようにしてください。) ② 排水トレイがきちんと挿入されているか確認してください。 ③ ミキサーが正しく接続されていない可能性があります。 ミキサーを外して、再度セッティングし直してください。 ④ ミキサーのチューブ接続状態を確認してください。</p>
<p>・ミルククーラーが冷えない。</p>	<p>① ミルククーラー後部のフィルターが汚れていませんか？ ② ミルククーラーが壁や他の機器の間は、5センチ以上確保されていますか？(すき間が無いと冷えません) ③ ミルククーラーの主電源がONであるか確認してください？ ④ ミルククーラーのコンセントが抜けていませんか？</p>
<p>・パウダーメニューの抽出量が少ない。 (味が薄い)</p>	<p>① パウダーがホッパーに入っていますか？ ② ホッパーがマシンに正しくセッティングされていますか？ (本体にしっかり挿入されていない場合) ③ ホッパー内の部品が正しくセットされていますか？ パウダーをホッパーから全て出して、中のスプリングがスムーズに回転するか確認してください。 ④ ミキサーが正しくセットされていますか？ ⑤ ミキサーのチューブ接続を確認してください。</p>

※ ここに書いている処置をしたのに改善しない、或いは、ここに書いている以外の状態が発生した場合は、サービスセンターへご連絡下さい。

## 保証とアフターサービスについて

### 1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。  
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

### 2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理  
保証書の規定により無料修理致します。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合  
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

**045-947-0804**

受付時間: 365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

### 3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| ●お名前  | ●商品名                |
| ●ご住所  | ●製造番号               |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

### ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

### 補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用マシン)	
型 名	カリマリ社製 コーヒーマシン HARMONY Soft
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	お 名 前
	住 所
	〒
	電話 ( )

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

#### ■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

#### ■サービス提供

「出張修理」

#### ■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます。）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

#### 第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

#### 第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

#### 第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

#### 第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

#### 第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

#### 第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

#### 第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご連絡ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご確認ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

## 第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）」に応じます。

## 第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

## 第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過剰な使用に起因する故障及び損害（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠 等）の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

## 第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

## 第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時までに発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

## 第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

## 第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店  
**ブルーマチックジャパン株式会社**  
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22











ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

大阪(営)：大阪府大阪市西区阿波座1-9-9

阿波座パークビル5階

福岡(営)：福岡県福岡市博多区豊1-5-24 丸信ビル108

<http://www.brewmatic.co.jp/>



17032020